2019年8月15日

差枚	+2344枚	RANK	B

実戦機種

ＧＩ優駿倶楽部、パチスロあの日見た花の名前を僕達はまだ知らない

実戦レポート

どんなに負けようが寝て起きれば次の日がやって来て、そして戦いがまた始まる。前日の大敗を気持ちではもちろん引きずっているが、そんな事は今日の立ち回りには一切関係ないのだ。そう言い聞かせてやってきたのは、完全に初めてお邪魔する中規模ホール。スロットの設置数は160台弱といったところだが、台数以上の並び人数が予想されるらしい。

まぁ、それだけ設定には期待できるという事だろうから、いつもより一層抽選が大事だな！
良い番号を引いたら何に行こうか？…と考えながら店頭に着くと、な、なんじゃこりゃ。列の開始から終わりまでグネグネと曲がったり階段を上ったり下りたり、揃いも揃った450人もの猛者が長蛇を形成してやがる。これはさすがにお店側も想定以上の人数だったようで、抽選が全て終わり、先頭が入場する頃には開店の10時をすでにだいぶ過ぎていた。

ちなみにオレが引いた番号は「120番」。設置台数からすると、正直狙いも何もあったもんではない入場順だが、それでも全体の中では上位1/3以上の数字ではあるので、贅沢は言っていられないだろう。入場し、当初の狙いをだいぶ削って削って、真っ先にバラエティコーナーへと向かうと、候補の一つだった「ＧＩ優駿倶楽部」が空いていた！　悩む間もなく確保し、すぐに実戦スタートとなった。

このＧＩ、設定がそんなに早く分かるような台ではないが、序盤から初当りが非常に軽く引けて徐々に期待が高まってくる。設定差がある部分は正直良くも悪くもなく、といった感じだが、同じような展開でも今日みたいに「高設定がいっぱいありそうな日」と「そうでもない通常営業日」では、期待度が段違いだからな。当てていくうち、出玉に繋がる「ARTのシナリオ」や「まこまこタイムによる上乗せ」も何回か良いのが引けて、凱旋門まで2回到達しつつ、2000枚オーバーの出玉をゲット。投資が少ないので、今日はマイナスの心配は無いかな!?

しかし、オレは気付いていた。打てば打つほど設定差のある要素がむしろ悪化している、という事実に。時刻はもう夕方、店内の高設定パターンもさすがに大方判明し、そのどれにも当てはまらないこの台は、おそらくヒキで出ただけだろうな。そう判断し、2000枚ものメダルを持って台移動した先は新台の「あの花」。ここでは直撃ATを引いたり、CZを上手く育ててストックを複数取ったりしつつ、一撃1000枚オーバーを獲得して勝ちの上乗せに成功。設定差については不明なところも多かったので、大事をとってここでヤメ。こういう勝ちもたまには良いよね？